

様式1

平成26年度 半期・~~年度~~ 事業評価書

評価対象期間	平成26年4月～平成27年3月分
施設名	リファーレンいなば
指定管理者名	公益財団法人鳥取県東部環境管理公社
指定管理期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設所管課名	生活環境課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	実施状況表(資料1)年間実績報告書聞き取り	業務報告(毎月)及び業務検査報告(四半期ごと)
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞き取り	内部研修・外部研修の実施
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	聞き取り	
6 減免対象者は、適切に減免しているか				
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	聞き取り	イベントの開催、綿花栽培事業の実施
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞き取り	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	4	聞き取り	リサイクルファクトリーの新メニューの開拓おもしろ市&手作り市の開催(3月)
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	実施状況表(資料1)聞き取り	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	実施状況表(資料1)聞き取り	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞き取り	組合へ迅速な報告・相談
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	4	3	資料2聞き取り	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	聞き取り	
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	聞き取り	
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り	

V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	4	聞取り HP	HP及びリファレンプレスのリニューアル
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	現地確認	
24	組合への報告体制が確立されているか	3	3	書類・聞取り	組合へ迅速な報告・相談
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	聞取り	避難訓練・救命救急講習(年1回)

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	指定管理期間5年間の初年度であり、展示、調査・研究、普及啓発の事業を計画書に基づき実施した。綿花栽培事業など新しくスタートさせた活動により、利用者数が12,258人で前年度に比べ122人増加した。
施設所管課	リサイクルフェスティバル等のイベント開催だけでなく木のまつり等への参加や出張出張前講座を開催し、リファレンいなばの認知度向上やエコ意識の啓発を図っており、評価できる。また新しい教室の開催、ファミリー世代に向けて遊具の設置、HP及びリファレンプレスのリニューアルなど、新たな来客層の獲得を目指し積極的に活動しており、今後の更なる魅力アップにつながる事業運営を期待する。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	ごみ処理現場の実情を目で確かめ、ごみ・環境問題への関心を深めてもらうためのリサイクルイベントを開催した。また、日常生活の中から出てくる廃棄物を修理し再生品として販売し、リサイクル意識啓発につながる体験教室を年間を通じて実施した。新たな事業として、綿花の栽培から収穫綿での作品作りまでを体感・実感することで、エコの心を養い、より多角的な視点から環境問題を考え行動出来る人材の育成に努めた。
施設所管課	綿花栽培事業やおもしろ市&手作り市などの新規事業に取り組み、集客と新たな利用者の開拓を図り、来館者の増につながり、評価できる。

4. 総括コメント

指定管理者	平成26年度は、アベノミクスによる景気回復への期待が高まっている中で、「持続可能な開発のための教育に関するユネスコ世界会議」が日本で開催され、環境教育への「人づくり」が促進される等循環型社会形成に向けた取り組みが着実に進展してきた。当社は、設立以来18年目を迎える中で、公益法人改革に伴うその移行初年度として新たな評議員制度、役員体制の下、各事業や業務の運営に万全を期したところである。リファレンいなばの認知度の向上や誘客数の増加を図るため、引き続き「地域の環境ステーション」としての機能を保持しつつ、「エコ」「手づくり」「楽しむ」をキーワードに地域に愛される施設を目指す。
施設所管課	運営・経営状況は概ね良好である。今後もごみ問題・環境問題を身近なものとして楽しみながら体感できる「地域の環境ステーション」として、さらなる事業運営に期待する。

確認方法	書類、聞取り、現地確認
------	-------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている